

木の住まい論 6

日頃は、当センターの住まいの維持管理支援事業いえかるてWEBをご利用賜り厚く御礼申し上げます。

7月に入り梅雨とは言え、大雨による災害も懸念される現代で、災害避難所の新型コロナ感染症リスクも検討され、今夏は、災害に敏感とならざるを得ない現状です。梅雨や災害による劣化状況も是非チェックしていただき、自主点検報告をいえかるてWEBにアップしてご利用ください。

さて、今回は、木造住宅について考える「木の住まい論」の続きをお届けします。

木の住まい論6 「大工親方・棟梁から社長へ」一地域的な職人生産の解体再編

木造住宅の近代化は、生産システムの産業化として進行してきた。

在来の住宅生産は、大工職人と左官・屋根職などの各職によって一回毎に臨時編成される地域の小規模な生産であった。戦後の木造住宅の大量供給と近代化は、この在来システムの解体と再編成による住宅生産の産業化によって、実現することになった。

大工のカナ、ノミ、ノコギリなどの手道具は、しだいに電動の機械に置きかわり、今では、柱・梁などの構造材は、工場でプレカットされる。規模と程度を別にすれば、生産の方式は、プレハブ住宅と何ら変わるところがない。

大工職人は、効率を上げようとする、工作を機械化し、工業製品の部品・部材を採用し、ますます自らの木造住宅を工業化住宅へ近づけることになってしまう。そこでは、伝統的な木造住宅の伝統は、経済性・能率といった戦後の価値の前に敗退し、自然材を扱う技は工業製品をアSEMBルする技術へと変質していった。

高度成長の前期には、生業的な職人群は、「工務店」組織への企業化の道をたどり、建築主による「直営工事」（建築主が材料を調達し職人を雇って実施する工事）は、より効率的な一式の「請負工事」（設計内容・価格・工期を決めて業者が請け負う工事）へと急速に変化した。棟梁と呼ばれた親方職人は、社長へとその名を変えることになった。大工職人達は、独立して新たな工務店を開き、その活動を強めていった。1960年に約8万であった大工工務店の企業数も1980年までの20年間で倍増し16万になった。

組織の大企業化が進み、住宅の商品化が進展してきた。高度成長期後期からコンピュータ利用による材木のプレカット技術、コンピュータ制御の機械で材木の所定の寸法への切断やジョイント部の継手・仕口加工を自動的に行う、の進展とともに、数百戸規模供給の地域ビルダーや1千戸を超える木造住宅メーカーを生み出し、今やそれらの大規模業者の市場シェアが大きくなっている。

建築主との折衝から住宅完成までの期間が、年間供給規模15戸程度の工務店が12ヶ月かかるのに対して、年間90戸の地域ビルダーで9ヶ月、年間1万戸の木造住宅メーカーで7ヶ月と言われ、木造住宅の産業化とともに、住宅供給の効率化は進んでいる。

このように、前回述べた木造住宅の商品化と、生産システムの産業化が相携えて進行してきたのである。
(つづく)

一般社団法人住宅長期支援センター
理事長 東樋口 護
(公立鳥取環境大学名誉教授)

※お知らせ

①WEB トップ画面に「次の点検時期」お知らせ欄が追加されました。

②住宅の売買や相続等で、所有者が移転する場合は、当事務局か、点検登録店へお知らせ下さい。

所定の手続き後、新所有者専用の証明書、ログインID・パスワード等を発行し、新築時の住まいの情報及び点検記録の引継ぎとWEBの活用、点検案内等のサービスを引続き新所有者さまにご活用いただけます。売買時には住宅の価値証明にもなり、売り手側にも有利に働きます。是非ご活用をお勧めします。

以上

<https://www.woodone.co.jp/product/kitchen/> 木を育てている会社を作る、木のキッチン！

<https://www.woodone.co.jp/showroom/> ウッドワン様様の全国のショールーム情報！

<https://woodone.jp/> インスタグラムをはじめ、無垢の木のある空間をご提案！

- ※ 維持保全計画、点検の実施についてのご質問、ご不明の点は、事務局までお問合せください。
- ※ 「登録住宅いえかるて」のご説明は、ホームページをご覧ください。<https://www.holsc.or.jp/iekarute/>
登録住宅いえかるてWEB ログイントップ：<https://www.toroku-jutaku.net/>
- ※ 「登録住宅いえかるて」WEBの「住宅所有者ID」をお忘れの方や不明の方、ご質問や資料をご希望の方、「担当の点検登録店」がご不明の方は、info@holsc.or.jp へメールをお願い致します。
- ※ センターのブログ、Facebook も是非ご覧ください。
 - ブログ <http://www.holsc.or.jp/information/blog/>
 - Facebook <https://www.facebook.com/一般社団法人-住宅長期支援センター-265533456815676/>
- ※ お住まいのご質問や相談、空き家の管理や活用の電話相談を承っています。
- ※ 自治会や子供会等へ「住まいの出前講座」をお受けしています。イベント企画にご利用ください。
- ※ このメールマガジンをご希望、又は不要の場合は、info@holsc.or.jp へご連絡をお願い致します。

一般社団法人 住宅長期支援センター

TEL : 06-6941-8336 FAX : 06-6941-8337 〒540-0012 大阪市中央区谷町1-7-4 MF天満橋ビル5階
登録住宅いえかるてWEB ログイントップ：<https://www.toroku-jutaku.net/>